

2018年7月26日

「札幌市中央体育館」のネーミングライツに関する協定締結について

北海道ガス株式会社（本社：札幌市、社長：大槻 博、以下；北ガス）は、札幌市と「札幌市中央体育館」のネーミングライツ（施設命名権）に関する協定を締結いたしましたので、お知らせいたします。本協定にもとづき、本体育館が開業する2019年4月より、札幌市中央体育館の愛称は「北ガスアリーナ札幌46」となります。

札幌市中央体育館が位置する「北4東6周辺地区」は、当社創業の地であり、現在、再開発が進められています。当社は、100年以上にわたりエネルギー供給を担い、地域の皆さまに育てていただきました。その感謝の気持ちと、新たなまちづくりにおいて、スポーツや文化の振興に取り組むことで地域に貢献していきたいという想いを評価いただき、この度ネーミングライツを取得いたしました。

また、当該地区では、当社が建設・運営するエネルギーセンターから地区全体に熱・電気を供給し、エネルギーマネジメントを行うことで、省エネ・低炭素なまちづくりを実現します。災害時には、地域の防災拠点となる本体育館にエネルギーの供給を継続し、災害に強いまちづくりに貢献します。

今後は、札幌市と連携し、本体育館を活用した地域を盛り上げるイベントの開催等、地域に根差す企業としてまちづくりに参画するとともに、地域社会の発展に貢献してまいります。

【協定調印式】



札幌市秋元市長（写真右）と、北ガス大槻社長

【施設愛称ロゴ】

北ガスアリーナ札幌46

KITAGAS ARENA SAPP_RO

【外観（イメージ）】



※詳細については、別紙（参考資料）をご覧ください

以上

(参考資料)

ネーミングライツの概要

愛称:「北ガスアリーナ札幌 46(きたがすありーなさっぽろよんろく)」

北ガスアリーナ札幌46

KITAGAS ARENA SAPPORO

当社の創業の地においてスポーツや文化振興に貢献していきたいという思いをこめました。また、スポーツ及びイベント利用施設として「アリーナ」を採用し、愛称の条件であった「札幌」に「46」を付け、場所のわかりやすさを表現。さらに、英文ロゴには「サッポロスマイル」を使用することで、札幌市と一体となり、世界に向けて”SAPPORO”という都市をアピールする姿勢を示しました。

愛称の使用期間:本体育館使用開始 から 2034年3月31日まで(15年間)

「札幌市中央体育館」の概要

1966年に、市民の体育の普及促進を図る中核施設、また、札幌市初の近代的規模と機能を有した総合体育館として建設されました。本体育館は、交通利便性に優れた市中心部に位置し、観客席を持つ競技室や武道の専用室等、区体育館と異なる特徴を持ち、長い間、市民のスポーツ活動の拠点施設としての役割を果たしてきました。一方で耐震性能や設備の老朽化が起きていることから、現在、市民のスポーツ活動を支える中核施設として、機能を継承するとともに、市民の誰もがいつまでもスポーツに親しむことができる環境を整備するために新しい中央体育館の建設を進めております。

<施設概要>

住所:札幌市中央区北4条東6丁目

敷地面積:15,060.43m²

<体育館棟>

延床面積:14,612.42m²(鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階建て)

主要施設:(1階)相撲室・ボクシング室・剣道室・武道室・柔道室・弓道室・アーチェリー室

・ウエイトリフティング室・トレーニング室 等

(2階)アリーナ(2,612m²) (可動観客席1,104席)

(3階)固定観客席(1,400席)、ランニングコース(1周250m) 等

<駐車場棟>

延床面積:2,260.55m²(鉄骨造 地上2階建て) ※約100台分

(以上)